

2023 年度地層処分学習会 東濃地科学センター施設見学と勉強会報告

慶應技術士会

2024/01/31

2016年から開催している7回目の勉強会を、2023年12月02日（土）に、原子力安全研究会参与の石川 博久先生に講師をお願いし、また見学会を、12月8日（金）に、東濃地科学センター、瑞浪地科学研究館の施設見学会を開催しました。参加者は、慶應技術士会会員6名、日本技術士会から1名、計7名で開催しました。

石川先生は、工学部応用化学科ご卒業で、勉強会で、核燃料サイクル、放射性廃棄物の分類と処分方式、処理方法、地層処分、地層処分計画の現状、研究開発の現状、海外の状況について貴重な資料をもとにご講義いただき、また、見学時名古屋から移動のバス車中において石井元当会会長より、GX（グリーントランスフォーメーション）実行計画による2050年に向けたカーボンニュートラル政策における次世代革新炉と原子力サプライチェーンについてご講義をいただきました。

参加者は、現状と将来の原子力の知識を得て、より深い理解ができる見学会・勉強会ができました。

東濃地科学センターの、土岐地球年代学研究所では加速器質量分析装置による炭素14による年代測定技術とその活用事例並びに、加速器質量分析装置の実機を見学し、処分関連技術の応用が実用化され、活用されていることを実感しました。

瑞浪地科学研究館では、旧瑞浪超深地層研究所で、既に2本の花崗岩を掘削した500m立坑は、健全花崗岩、断層部の花崗岩での地下水の移動などの調査研究が終了し埋め戻されています。

1. 勉強会

実施日 : 2023年12月02日（土）
場 所 : WEB
講 師 : 石川 博久 先生（公益財団法人原子力研究会 参与）

2. 見学会

実施日 : 2023年12月08日（金）
見学場所 : 東濃地科学センター（瑞浪地科学研究館、土岐地球年代学研究所）

3. 参加者（敬称略）

石井 正則（チューター、元会長）、上谷 達也（慶應）、正司 康雅（慶應）、鈴木 次郎（慶應）、田中 圭（慶應）、山本憲一（日本技術士会）、蔭山 照文（世話役、慶應）

土岐地球年代学研究所にて



加速器質量分析装置の見学



瑞浪地科学研究館にて



瑞浪地科学研究館の見学



4. 成果

今回も日本技術士会から1名並びに、大阪府、茨城県からの参加者があり、多様な分野、地域で活動している技術士に参加していただき開催することができました。

幌延での地層処分研究開発、六ヶ所での核燃料サイクル施設の見学を経て、瑞浪での加速器質量分析装置による炭素14による年代測定技術とその活用事例並びに、加速器質量分析装置の実機を見学し、処分関連技術の応用が実用化され活用されていることを知り、核燃料サイクルの全体と高レベル放射性廃棄物処分について理解を深めることができました。

5. 課題

今回（6回目）までの見学会と勉強会への参加者、特に慶應技術士会（登録会員数約200名）からの参加者が特定の会員（主に隔月の定例会参加者）と限定的となっています。日程が平日に限定されるため、企業で活動している当会会員、青年技術士支援委員会会員が容易に参加できる日程設定の工夫が求められます。

なお、この勉強会と見学会は、原子力発電環境整備機構（NUMO）の支援事業として行われたものです。

文責 蔭山 照文